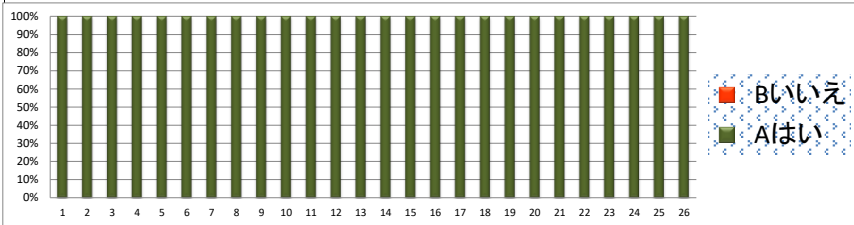


(職員)児童発達支援評価表 2023年2月 レモンバーム



環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか
	2	職員の配置数は適切であるか
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか
適切な支援の提供	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか
保護者への説明等	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか
非常時等の対応	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか
満足度	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)
	24	地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか

工夫している点、課題や改善すべき点など

環境・体制整備	1	人数調整や活動内容によって、療育室を考え、行うようにしている。
	2	欠勤(急な時)になってしまうと、他の職員に負担がかかってしまうので、いつも心配している。
	3	
	4	療育前に活動の準備を確認している。周りが気になる子の時、必要な物以外、片付けるようにしている。
適切な支援の提供	5	
	6	
	7	
	8	
	9	研修後の職員間での共有によって自分では気が付かなかった考えを学べるので、生かしていきたい。
保護者への説明等	10	
	11	
	12	
	13	
	14	施設長や先輩に相談し、プログラム作成を行っている。
	15	一人で作成せず、複数の目で確認し作成している。変化を加えながら楽しめるように他の職員の療育も参考にしていく。
等非常時の対応	16	
	17	車中で(移動中)一日の流れを確認している。(グループ療育内容・送迎者の確認など)
	18	
	19	本人の成長につながり、楽しそうに通所している姿を見て、親としても支援に満足しています。いつもありがとうございます。子どもの成長が感じられて嬉しく思っています。小学校へ入学し、レモンバームに通えなくなる事、親としても不安しかありません。
	20	
満足度	21	相談員さん、子育て応援課、社会福祉課、園訪問などをして連携し共有している。
	22	
	23	
	24	オンライン研修で理学療法士や作業療法士の方に助言して頂き、発達支援に繋げている。定期的にオンライン研修を願ひし、理解を深めようとしている。
	25	園訪問をし、情報共有している。
	26	保育所、認定こども園、幼稚園等に通園している子が事業所に通所しているため、一緒に活動する機会はある。事業所としても園さんを訪問させて頂き、交流を行っている。